

柏市清掃工場  
基幹的設備改良工事及び運営事業

最優秀提案者選定結果報告書

令和 5 年 9 月

柏 市



柏市長 太田 和美 様

「柏市清掃工場基幹的設備改良工事及び運営事業」(以下「本事業」という。)の事業者選定に際して柏市が設置した柏市清掃施設総合評価一般競争入札方式選定委員会は、本事業に関して公表した入札説明書における落札者決定基準に基づき、入札参加者より提出された提案書類について厳正かつ公正な審査を行い、最優秀提案者を選定したので、次のとおり報告する。

令和5年9月7日

柏市清掃施設総合評価一般競争入札方式選定委員会

## 1 選定委員会の体制

柏市清掃施設総合評価一般競争入札方式選定委員会（以下「選定委員会」という。）は、以下の委員から構成された。

（◎：委員長，○：副委員長）

荒井	喜久雄	（公社）全国都市清掃会議	技術指導部長
小林	潤	工学院大学 工学部機械工学科	教授
◎奥田	謁夫	柏市	副市長
小島	利夫	柏市	企画部長
中山	浩二	柏市	財政部長
○後藤	義明	柏市	環境部長

## 2 選定委員会の開催経緯

選定委員会は以下のとおり開催した。

(1) 第1回選定委員会 令和5年4月12日（水）

実施事項：落札者決定基準の審議

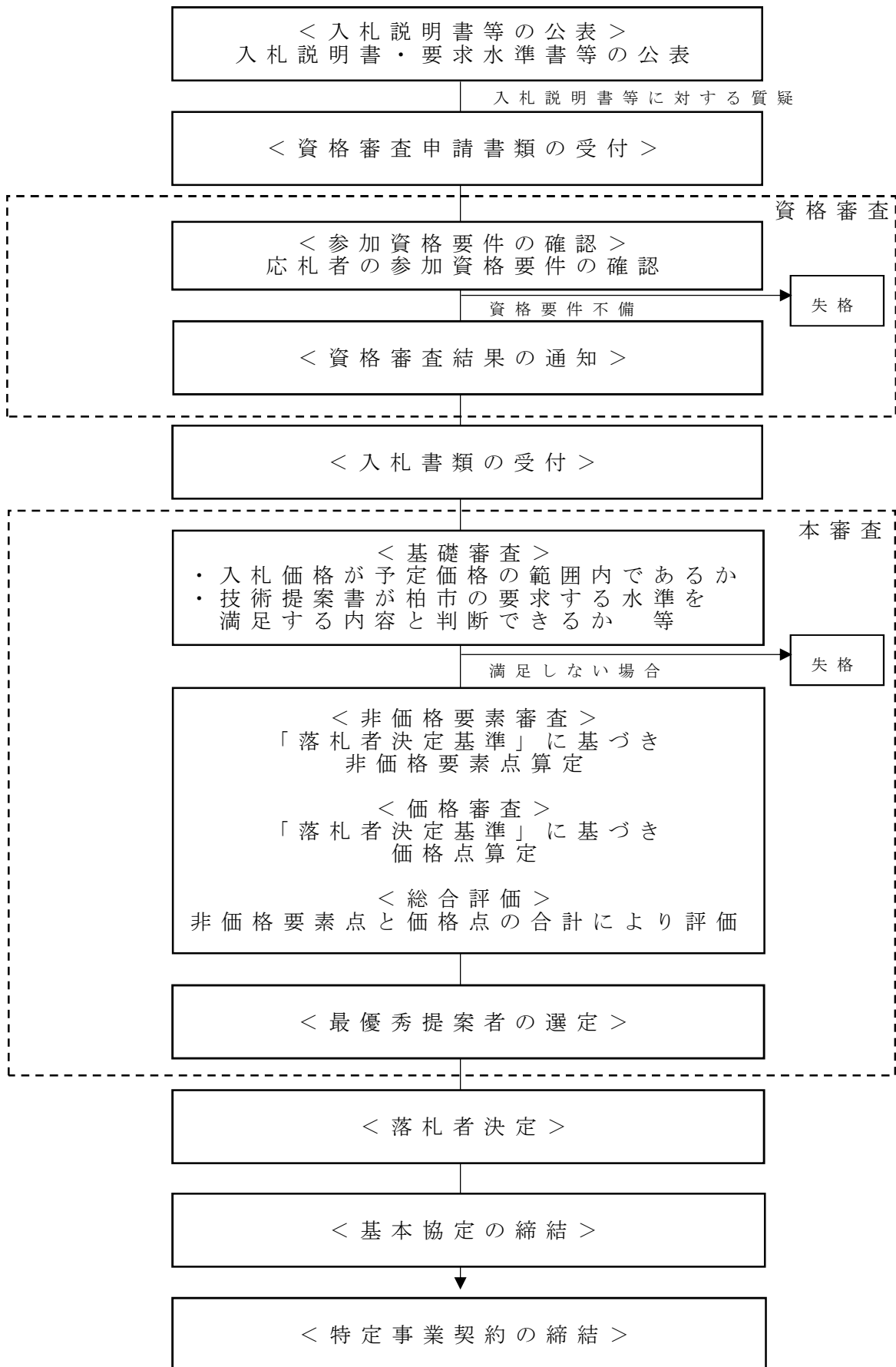
(2) 第2回選定委員会 令和5年8月23日（水）

実施事項：最終審査対象者によるプレゼンテーション，  
最優秀提案者の選定

## 3 審査の流れ

入札公告（入札説明書等の公表）から契約締結に至るまでの流れは、図1のとおりである。

図 1 契約締結までの流れ



#### 4 落札者決定基準

##### (1) 総合評価の方法

最終審査対象者について、「価格点」と「非価格要素点」の合計によって「総合評価点」を算出し、総合評価点が高い者を、落札者とした。

$$\text{総合評価点} = \text{価格点} + \text{非価格要素点}$$

総合評価点は100点を満点とする。

価格点と非価格要素点の比率は、50：50とする。

##### (2) 価格点の算出方法

各最終審査対象者の入札価格について、以下の算式に基づいて価格点を算出した。

点数は、小数点以下第2位を四捨五入した値とする。

$$(\text{価格点}) = (\text{最低入札価格} / \text{入札価格}) \times 50 \text{ (点)}$$

##### (3) 非価格要素点の算出方法

###### ア 評価項目と配点

非価格要素の評価項目及び配点は以下のとおりとした。

表1 非価格要素の評価項目及び配点

評価項目		評価のポイント	配点	
大項目	中項目			
1. 共通	(1) 業務実績	・ 本施設と同種・類似施設での工事・運営実績等が複数提示されているか。	2	10
	(2) リスク管理	・ 実績に基づき本事業で生じる以下の例に示すような多様なリスクを抽出し、それに対する独自の対応策、各種保険の活用、バックアップ体制等について、具体的なリスク管理への提案がなされているか。 【リスクの例】 ① 環境基準の未達（例：公害	6	

		<p>防止基準の超過等)</p> <p>② 設備の損傷 (例: ボイラー水管の破損等)</p> <p>③ 事故の発生 (例: 作業員の転落, 来訪者のけが等)</p> <p>④ 自然災害による被害 (例: 集中豪雨による浸水被害等)</p> <p>⑤ 調達環境の変化 (例: 調達期間の長期化, 急激な価格変動等)</p> <p>⑥ 特別目的会社の経営悪化 (例: 特別目的会社の財務悪化, 人材確保難, 構成企業の経営破綻, 市との連携不足等)</p> <p>⑦ ごみ量・ごみ質の変動 (例: 通常時のごみ質変動及びプラスチック資源循環促進法による変動への対応等)</p>		
	(3) 地域貢献	<ul style="list-style-type: none"> <li>本事業での地元企業の活用, 地元雇用の促進及び本事業を通じた地域への貢献等について, 具体的な提案がなされているか。</li> </ul>	2	
2. 基幹的設備工事の改良	(1) 安定処理継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>基幹的設備改良工事を確実に履行できる実施体制が提示されているか。また, 本施設の可燃ごみ及び不燃ごみの安定処理に影響を及ぼす恐れがある工事項目を複数提示し, 受入が困難となるごみ量が最小となる施工計画, 工程計画について, 具体的な提案がなされているか。</li> </ul>	6	20
	(2) 工程計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>本施設において, 発生が懸念される工事工程上の問題点を複数提示し, それらの対応策及び工程遅延の解消方法について, 具体的な提案がなされているか。</li> </ul>	2	

	(3) 脱炭素化と施設性能	<ul style="list-style-type: none"> <li>循環型社会形成推進交付金等の活用に配慮し、CO<sub>2</sub>の削減に寄与する機器選定への具体的な工夫、及び本施設におけるCO<sub>2</sub>削減に寄与する更なる提案がなされているか。</li> </ul>	6	
	(4) 利用者への配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>工事期間中に本施設利用者（ごみ搬入者等）に影響を及ぼす恐れがある問題点を複数提示し、それらの影響を最小とするための導線計画、安全対策等について、具体的な提案がなされているか。</li> </ul>	2	
	(5) 先進的設備導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>本施設に導入を検討している先進的設備を複数提示し、それらによるごみ処理性能向上、維持管理の容易化への効果について、具体的な提案がなされているか。</li> </ul>	2	
	(6) 近隣配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>工事計画に係る地域住民への説明と要望対応について、具体的な提案がなされているか。</li> </ul>	2	
3. 運転・維持管理	(1) 安定処理継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>運転・維持管理を確実に履行できる実施体制が提示されているか。また、工事期間中における統括マネジメントの実施方法、及び本施設での可燃ごみ及び不燃ごみ量の受入が困難となるごみ量が最小となる運転管理（操炉計画等）での工夫について、工事期間中の月ごとの受入可能量等を提示の上で具体的な提案がなされているか。</li> </ul>	6	20
	(2) 電気の有効活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>売電量を最大化するための売電計画における工夫、及び買電量を低減するための方策について、具体的な提案がなされているか。</li> </ul>	6	



		案がなされているか。		
	(3)維持管理可視化	・本施設の設備維持管理状況を可視化し、市の担当者と共通認識を図るための方法について、具体的な提案がなされているか。	2	
	(4)効率性・安定性	・効率的な運転計画と必要な職員配置計画を示した上で、要監視基準値の設定、運転等に従事する職員の能力向上や事故防止に向けた教育や研修、早期欠員補充に係る方策について、具体的な提案がなされているか。	2	
	(5)災害対応	・災害発生時の災害廃棄物の受入体制の構築について、市の災害廃棄物処理計画を踏まえた、具体的な提案がなされているか。	2	
	(6)業務改善	・セルフモニタリングによる、業務遂行状況の適切な管理方法及び業務改善の取組みについて、具体的な提案がなされているか。	2	
合計			50	

#### イ 点数化方法

提案内容について、各項目に関して以下に示す「評価点の付与の考え方」に基づいて評価を行い、評価点を算出した。

評価点については、各委員の平均点とし、小数点以下第2位を四捨五入した値とした。

表 2 評価点の付与の考え方

評価	評価基準	配点
A	要求水準を超えて具体的かつ革新的で優れた提案がある	配点 × 100%
B	要求水準を超えて具体的かつ優れた提案がある	配点 × 80%
C	要求水準を超えて具体的な提案がある	配点 × 60%
D	要求水準を超えた提案があるが、具体性に欠ける	配点 × 40%
E	要求水準を満たす程度	配点 × 20%

ウ 総合評価点の算出方法

価格点と非価格要素点から(1)に示す算式に基づき、総合評価点を算出した。

## 5 審査の結果

### (1) 資格審査

資格審査では、本審査のための提案等を行う者として、入札説明書に示す入札参加資格要件を満たし、適正な資格を有するかを審査した。

### (2) 入札参加者

令和5年5月26日までに1グループの申請があり、入札参加資格を有することを確認した。

入札参加者	参加資格の有無
みどりグループ	有

### (3) 審査結果

入札参加資格を有する1グループから提出された入札書類について、アからエの審査を行った。なお、審査の公平性を確保するため、企業名を伏せ、柏市が指定したグループ名により審査した。

#### ア 基礎審査

提出された提案書類について、以下を確認した。

- (ア) 技術提案書が技術的観点から見て柏市の要求する水準を満足する内容と判断できること
- (イ) 事業計画書が要求水準に即しており、事業収支等について妥当性を有していると判断できること
- (ウ) 入札価格が予定価格を上回っていないこと。また、工事費、運営費についても、費目ごとの価格を上回っていないこと

#### イ 非価格要素審査

アの基礎審査を通過した最終審査対象者について、選定委員会による非価格要素審査を行い、非価格要素点を決定した。非価格要素審査時には、最終審査対象者によるプレゼンテーション及び選定委員からのヒアリングを実施した。審査結果は、表3のとおりである。

表 3 非価格要素点

評価項目		みどりグループ	
大項目	中項目	非価格要素点	
1. 共通	(1) 業務実績	1. 3	6. 1
	(2) リスク管理	3. 6	
	(3) 地域貢献	1. 2	
2. 基幹的設備改良工事	(1) 安定処理継続	4. 0	12. 2
	(2) 工程計画	1. 2	
	(3) 脱炭素化と施設性能	3. 6	
	(4) 利用者への配慮	1. 3	
	(5) 先進的設備導入	1. 2	
	(6) 近隣配慮	0. 9	
3. 運転・維持管理	(1) 安定処理継続	3. 4	12. 2
	(2) 電気の有効活用	4. 2	
	(3) 維持管理可視化	1. 3	
	(4) 効率性・安定性	1. 2	
	(5) 災害対応	1. 0	
	(6) 業務改善	1. 1	
合計		30. 5点	

ウ 価格審査

最終審査対象者の価格提案について、落札者決定基準により価格点を算出した。審査結果は、表4のとおりである。

表 4 価格点

項目	入札価格	予定価格
	みどりグループ	
入札価格	33,298,400,000円	33,350,000,000円
工事費	12,800,000,000円	12,810,000,000円
運営費	20,498,400,000円	20,540,000,000円
価格点 (50点満点)	50.0点	

※消費税及び地方消費税を除く

エ 総合評価

イで決定した非価格要素点とウで算出した価格点を加算して総合評価点を算出し、最優秀提案者を選定した。

審査結果は，表 5 のとおりである。

表 5 総合評価点

区分	みどりグループ	配点
非価格要素点	30.5点	50点
価格点	50.0点	50点
総合評価点	80.5点	100点

オ 最優秀提案者の選定

選定委員会は，表 6 のとおりみどりグループを最優秀提案者として選定した。

表 6 最優秀提案者

入札参加者	みどりグループ
代表企業	荏原環境プラント株式会社
構成企業	—（単独企業）
協力企業	—（単独企業）

6 審査講評

(1) 非価格要素提案に係る講評

非価格要素の各評価項目について，提案内容に対する評価は以下のとおりである。

評価項目		評価
大項目	中項目	
1. 共通	(1) 業務実績	・ 十分な実績を有しており，安定的な処理の継続が期待できる点を評価した。
	(2) リスク管理	・ リスクマネジメント体制を適切に構築し管理することで，リスク顕在化の防止が期待できる点を評価した。
	(3) 地域貢献	・ 幅広く地域に貢献するための提案がなされている点を評価した。
2. 基幹的設備改良工事	(1) 安定処理継続	・ 工事期間及び工事後それぞれについて，安定的な処理の継続に向けた具体的な対策がなされている点を評価した。

	(2) 工程計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設敷地の状況や近年の社会情勢を踏まえ、工程の遅延を発生させないための具体的な対策がなされている点を評価した。</li> </ul>
	(3) 脱炭素化と施設性能	<ul style="list-style-type: none"> <li>二酸化炭素排出の削減目標達成に向け、詳細な計画を立案し、実行していくことを期待したい。</li> </ul>
	(4) 利用者への配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民によるごみの持込に支障が出ないための、適切な対策を期待したい。</li> </ul>
	(5) 先進的設備導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全性の向上及び安定かつ効率的な運用に資する提案がなされている点を評価した。</li> </ul>
	(6) 近隣配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>騒音・粉じん等の低減に向けた具体的な対策がなされている点を評価した。</li> </ul>
3. 運転・維持管理	(1) 安定処理継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>確実な運転・維持管理の実施が期待できる実施体制の他に、安定処理に影響を及ぼす可能性のある項目を挙げ、必要な対策の提案がなされている点を評価した。</li> </ul>
	(2) 電気の有効活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>売電量の増加及び買電量の低減を実現するための具体的な提案がなされている点を評価した。</li> </ul>
	(3) 維持管理可視化	<ul style="list-style-type: none"> <li>運転・維持管理に係るデータを柏市と共有するための具体的な方策の提案がなされている点を評価した。</li> </ul>
	(4) 効率性・安定性	<ul style="list-style-type: none"> <li>人材育成・能力向上について具体的提案がなされている点を評価した。</li> </ul>
	(5) 災害対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>豊富な実績と全国的な体制により、災害発生時の適切なバックアップと稼働の継続が期待できる点を評価した。</li> </ul>

	(6) 業務改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>幅広い事項について業務遂行状況を確認する様式を作成することで、業務改善が期待できる点を評価した。</li> </ul>
--	----------	----------------------------------------------------------------------------------------------------

(2) 総評

本事業は、稼働から32年が経過した柏市清掃工場について、今後18年間にわたり、安定稼働を確保しながら本施設を運営していくことを目的とするものである。

本事業について、総合評価一般競争入札方式により事業者の入札公告を行ったところ、荏原環境プラント株式会社の1者から入札書類の提出があった。

当該入札参加者の提案について、選定委員会として厳正に審査した結果、要求水準を満足する提案がなされ、豊富な実績と専門的知識に基づいた適切な事業の実施が期待できる内容となっていると判断したことから、当該入札参加者の提案を最優秀提案として選定した。

荏原環境プラント株式会社においては、柏市が示した要求水準に加え、提案書及びプレゼンテーション時の質疑応答の内容を確実に履行するとともに、柏市における本事業の重要性を改めて理解したうえで、特に以下の事項への対応に努められることを望みたい。

ア 基幹的設備改良工事期間中は、受入が困難となる一般廃棄物量が最小となるよう、工事工程及び運転工程を計画すること。また、市民によるごみの持込に支障が出ないように適切な対策を講じること。

イ 基幹的設備改良工事の工程に影響を及ぼす事象が発生した場合は、柏市へ早期に報告すること。

ウ 事業期間を通じ、可能な限り地元企業の活用や地元雇用の促進を図り、地域への貢献に努めること。

エ 近隣住民に対する本事業の説明が必要となる場合には、柏市と協力して、誠意ある対応を行うこと。

オ 処理するごみ量・ごみ質を踏まえ、本施設の発電量を

最大化し，施設からの二酸化炭素排出量を低減する方を随時検討すること。

カ 柏寿荘への電力及び熱供給について，今後の施設稼働状況や柏寿荘側の意向も踏まえ，温水の温度設定や蒸気の活用等，二酸化炭素排出量の削減に寄与するよう，より一層のエネルギーの有効活用に努めること。

キ 本施設での創エネについて，今後の社会環境変化や柏市の環境政策等を踏まえ，可能である場合には積極的に施策の提案を行うこと。

ク 集中豪雨への対応について，近年の実績を踏まえた災害時対応マニュアルを事前に整備し，当該マニュアルに基づき適切な対応を行うこと。そのうえで，事業期間中は，集中豪雨の発生状況に応じ随時必要な対応を検討し，新たな対策を講じる必要がある場合には，柏市と協議すること。

ケ 業務改善については，大きな問題へ繋がる可能性のある事象が発生した場合，適宜柏市へ報告の上，問題が顕在化しないよう適切な対策を講じること。

コ 柏市の求めに応じ，交付金及び補助金が適切に交付されるよう協力すること。

サ 日常点検はもとより，施設内の整理，整頓及び清掃等を継続的かつ着実に実施し，常に清潔かつ健全な状態に保つこと。